



KEM第17回学術大会及び総会が開催されました

2018年1月28日（日）に東京・秋葉原コンベンションホール2Fにて

大会長：川島 正（日本大学松戸歯学部）

実行委員長：小塚昌宏（日本大学松戸歯学部）

テーマ：『上手になろう！非外科的歯内療法』

基調講演として

講師：辻本 恭久先生（日本大学松戸歯学部）

「マイクロスコープとCBCTを有効利用する根管治療-Effective Use of Microscope and CBCT for Root Canal Treatment-」

小嶋 壽先生（東京都開業）

「歯内療法もがっちりとしっかりと！」

鈴木賢策賞受賞講演として

長尾 大輔先生（茨城県ひたちなか市開業）

「複雑な問題を抱えた歯に対する再根管治療-マイクロスコープを用いた新たなアプローチ-」

午後は、テーブルクリニック9演題がありました。

小嶋壽先生「歯内療法の臨床を見せよう！」

速見勝彦先生・牧志任先生・赤池翼先生「オピアンキャリアと私たちの臨床」

石井隆資先生「歯内療法をおこなう歯科医師が知っていなければならない非歯原性歯痛」

吉松宏泰先生「マイクロスコープの構造と特性を理解した記録の取り方」

藤井万弘先生「根管内からにこだわる私の歯内療法」

天野晃先生「『根管充塞』緊密な根管充填法」

山田國晶先生「根管処置時における穿通障害症例への考え方とアプローチ」

北村和夫先生「CBCTとマイクロスコープを用いた歯内療法」

中村慎介先生「歯内療法におけるCBCTの機種比較と選定について」

御挨拶

日本歯科大学生命歯学部歯科保存学講座

西田 太郎

この度、関東歯内療法学会常任理事を拝命いたしました日本歯科大学生命歯学部歯

科保存学講座の西田太郎と申します。

関東歯内療法学会のセミナーに初めて参加したのは大学院1年のときでした。当時からテーブルクリニックや講演において活発な討議が行われていたと記憶しております。現在とは異なり各大学の大講堂や協賛



企業の会議室などをお借りして開

催されていましたが、前回より秋

葉原に会場を移し今まで以上に大勢の皆様と意見交換を出来る場となりました。

今日、歯内療法分野では様々な器具、器械が開発されており、発展が著しくなっております。しかし、器具器械が新しくなってもそれらを使いこなすのは我々歯科医師であり、生涯学習を欠かすことが出来ません。現在わたくしは大学における教育を主務としております。従前のラバーダム防湿や根管充填などについての教育を行っておりますが、最近ではNiTiファイルやMTAなどの新技術や材料などが日々教育に取り入れられております。それらの新技術や材料にはじめて触れるのが大学の教育であると考えております。卒前教育や卒後教育などにおける学習は歯科医療の基本であり、歯科医師の根幹でありその一端を本関東歯内療法学会においても担うこと出来ればと考えております。

今後も皆様の御支援を賜り、関東歯内療法学会の発展に寄与できますよう役目を果たして参りますので宜しくお願い致します。

#### 第17回学術大会アンケート集計

参加人数 175名（有料153名、無料21名）回収枚数57枚

**Q今回の学術大会に参加されていたかでしたか？**

- ・利用できる術式が多く、理解できた。

- ・根充のコツが分かった。
- ・普段悩んでいる症例について、知ることができた。
- ・疑問点、分からなかった事が解決した。
- ・質疑がありませんでした。
- ・全体的に良かったが、テーブルクリニックが近すぎて集中して聞けなかった
- ・良いところも沢山ありましたが、満足までは今一つです。新しいテーマがどんどん増えると良いです。

**Q今回の講演の内容は、今後の診療に役に立ちますか？**

- ・根管治療によるマヒ症例
- ・根充のコツ
- ・試す価値があるから。
- ・実践的。

**Q今回良く理解できた事は何でしたか**

- ・NTコンデンサー。
- ・顕微鏡の構造の相違。
- ・CTの比較。
- ・NiTiに頼らない基本。
- ・歯根端切除はダメ。IA。
- ・非歯原性疼痛の対処の方法が分かった事
- ・根管明示。
- ・エンド三角。エンド三角除去の大切さ。
- ・根充。
- ・狭窄根管の原因等について。
- ・歯内療法は根管から治すのが基本。外科しなくてもほとんど治る。

**Q今回あまり理解できなかった事は何でしたか。**

- ・肉眼治療
- ・器具の種類
- ・エンド三角を取るのが大事なものは理解できたが、削りすぎてしまわないか、自分は不安に感じた。

**Q今後、どのような講演をご希望ですか？**

- ・MTA
- ・マイクロエンド



・画像対決→CBCT、CBCT、CT、MRI、何が分かるのか、それぞれの特徴、適応症。放射線の先生を呼んでください。

・内部の先生だけでなく、医科、材料、基礎の先生をお呼びしてほしい。

アンケートとは別に行った投票の結果、鈴木賢策賞に北村 和夫 先生の「CBCTとマイクロスコープを用いた歯内療法」が、支

部会長賞に石井 隆資 先生の「歯内療法を行う歯科医師が知っていなければならない非歯原性歯痛」が選ばれました。次期大会からの受賞対象に関しては関東歯内療法学会のホームページをご覧ください。

<http://jea-kantoh.jp/index.php>

皆様からのご意見ご希望などをMailにてお待ちしております。

事務局アドレス：[golden-circle@nifty.com](mailto:golden-circle@nifty.com)

## 2018年度 第22回サマーセミナー・ハンズオンセミナーについて

テーマ：「今、なぜファイバーポストレジンコアなのか？」

サマーセミナーでは、旬な2名の講師をお招きし、代表的なファイバーコアについて、基礎と臨床、保存と補綴の両面からお話しいただく予定です。

さらにそれだけではありません。国内で販売されている製品のほとんどについて、それぞれの販売業者から直接解説を聞くことができます。

自院で使用されているファイバーポストの再検討をお考えの先生には、またとない機会になることでしょう。

濃密な夏の2時間半を用意しております。皆様のご参加をお待ちしております

日 時：2018年8月30日（木）17:00～19:30（その後ビアパーティ）

会 場：秋葉原コンベンションホール

JR秋葉原駅電気街口出ですぐのダイビル2階 <http://www.akibahall.jp/data/access.html>

講 師：渥美 克幸 先生（埼玉県開業）、峯 篤史 先生（大阪大学大学院歯学研究科 クラウンブリッジ補綴学分野）

座 長：天川由美子先生（東京都開業）

協 賛：①サンメディカル株式会社②株式会社ジーシー③株式会社松風④スリーエムジャパン株式会社⑤株式会社トクヤマデンタル⑥白水貿易株式会社⑦ペントロンジャパン株式会社⑧トロフィー・ジャパン株式会社

参 加 費：

事前登録 5,000円

非会員及び会員当日参加 7,000円（当日にJEAに入会された場合は参加費無料）

学部学生、大学院生、研修医、に限り 会費無料

（ただし事前登録してください。学部学生、大学院生、研修医は身分証の提示をお願いします。提示がない場合は非会員扱いとなります。）

参加申込締切日：2018年6月30日（土）

定員：300名

※日本歯内療法学会、関東歯内療法学会会員でなくても、どなたでも参加できます。

※受講者は生涯研修カードを持参ください。

※JEA非会員の方で当日JEA新入会者に限りサマーセミナー代免除！

申し込み方法：

ホームページ上で申込のうえ、銀行振り込みで参加費をお支払いください。

